



公式ルール概要

策定日：2025年10月1日

半荘時間

- 60分打ち切りとします。
(対局中に60分を超えた場合には、その局で終了をアナウンスします。)

集計方法

- 持ち点は、30,000点を超える得点をプラス（+）、不足する失点をマイナス（▲）として集計します。
- 競技順位は、半荘終了時の合計得点の多少によって決定します。
- 順位点は、半荘での競技順位に従って加減算される点であり、本規定では、以下に示す方式を用います。

1位	+50,000点
2位	+10,000点
3位	▲10,000点
4位	▲30,000点

○持ち点・順位点共に、1000点=1ポイントに換算し成績を集計します。

【例】

35,800点の2位→+5.8p+10.0p(順位点)=+15.8p

41,600点の1位→+11.6p+50.0p(順位点)=+61.6p

- 流局で半荘が終了した際のリーチ棒は、トップ者に加算されます。
- 半荘終了時に同点で終わった場合、順位点を均等に分けます。
- 3名が同点だった場合の端数は、起家に近い方が大きいポイントを取得します。
- 流局終了した際のリーチ棒は当該者で均等に分けます。
- 対局終了時に残った供託はトップ者の持ち点に加算、トップ者が複数居る場合は按分する
(3名で端数が出る場合は1,000点を400点・300点・300点に分けこれを等倍し起家に近い方に多く加算する。)
- 順位点と同様に、起家に近い方が大きいポイントを取得します。

ルール

- 1本場は300点、ノーテン罰符は場に3000点とします。
- 半荘戦とし、西入りなしとします。
- 聴牌連荘とします。
- 場決めは卓内の起家マークを起点に摺み取りの上決定します。
- 親決めはサイコロ二度振りにより決定します。
- 一発／裏ドラ／槓ドラ／槓裏ドラあり、とします。
- 槓ドラは常に先めくりとします。
- 赤牌は萬子、筒子、索子の5に各1枚ずつをドラ扱いとし、手役扱いとはなりません。
- 切り上げ満貫とします。
- 13翻以上の和了は数え役満を適応せず3倍満とします。
- 純粋な役満の複合は認められますが、四暗刻単騎待ち／国士無双十三面待ち／大四喜／純正九蓮宝燈の4種についてダブル役満は認めず、単独の役満とします。
- 人和という役は認められません。
- 大三元／大四喜／四槓子を確定させる牌を鳴かせた場合、和了に対して、ロンの時は放銃者との折半、ツモの時は全支払いとします。
- 持ち点がマイナスになっても、続行が認められます。（トビ終了なし）
- オーラスの親はトップの場合に限り和了止めはできません。
- 流局の場合の聴牌宣言は東家→南家→西家→北家の順で行います。
- 九種九牌／四風連打は流局とします。
- 四開槓が成立した場合は流局とし、親が交代し積み棒が1本場増えます。
- 四人リーチが発生した場合でも、局を中断せずそのまま続行します。
- 海底牌は槓をすることは認めていません。
- 嶺上開花によって和了となった場合、ツモ符（2符）を加算するものとします。

- 自風と場風が重なる「連風牌」の対子は、2符として計算します。
- 流し満貫は認められません。
- 複数和了（ダブルロン・トリロン）がある場合、放銃者から数えてツモ順の早い者を優先する「頭ハネ」を適用し、1回の放銃に対し和了者は一局に1人とします。
- 頭ハネにより和了者が確定した際、積み棒および供託（立直棒など）は、その和了者（上家）が全て受け取るものとします。
- ポン／チー／カンはポン／カンを優先します。
- リーチ宣言は自分の打牌前であれば取り消すことを認めます。
- 半荘終了時の供託については、1位に加算します。

禁止事項、マナー、違反行為

禁止事項

- 他家の和了などに対する批判
- 対局中、立直時の伏せ牌
- 先ツモや打牌の強打、引きツモ

対局マナー

- 倒牌の際は両手で倒牌してください。
- 点棒の授受は、相手の取りやすい位置に丁寧に置いてください。
- 配牌時には自山を前に出し、自山にドラ表示牌がある場合にはリンシャン牌を下ろしてください。
- 次のツモ牌に触れるとポン／チー／カン／ロン等は認められません。
- 捨て牌が河に置かれた時点で、牌の入れ替えはできません。
- 暗槓の際は、必ず4枚を全員に見せてください。
- 捨て牌は1列を6枚になるように並べてください。
- 見せ牌や腰牌に関する罰則はございませんが、立会人が故意と判断の場合に限り、和了放棄の罰則をとらせて頂きます。
- 発声は他の方に聞こえるようハッキリとお願いします。
- 鳴きにおける晒し順は、発生→牌を晒す→取牌→打牌を原則とします。

違反行為

以下の行為を行った場合、不戦敗扱いとなる可能性があります。

同卓者は運営の指示を仰ぐこととします。

- イカサマ行為
- 対局中に必要となる発声以外の発言（シャミセン、放歌、鼻歌）
- 暴言、威圧行為
- あぐら、たてひざ、足を組む等の悪い姿勢での対局
- 他人の和了に対する批判
- 泥酔状態での対局
- 他の参加者が不快に感じると同卓者が判断した行為

錯和の規定

^

- 錯和が発生した場合は「▲20p」とします。
- 錯和の場合、親は流れず、その局をやり直します。
- 錯和の際、積み棒は増えず、リーチ棒はリーチ者に戻ります。

錯和になる場合

- 誤ロンや誤ツモで手牌を倒牌した場合
- 振聴、同巡内振聴で和了発生を行い、倒牌した場合
- ノーテンリーチで流局した場合
- リーチ後に待ちの変わる槓や送り槓をした状態で、倒牌をした場合、もしくはそのまま流局した場合
- 牌山や河を復元不可能なほど崩し局を続行不可能にした場合

和了放棄になる場合（ノーテン扱い）

- 多牌、少牌、食い替え、振聴ロン及び誤ロンと誤ツモ(倒牌なし)をした場合
- 副露の晒し間違いをした状態で打牌まで完了した場合
- 発声のない副露や倒牌をした場合
- その他、立会人の指示、及び判断により競技を進める

参加者の方が楽しい時間を過ごせるように、ご協力をお願いいたします。

この他に何かご不明な点などありましたら、運営までご質問ください。

開催日時までに細かいルール等変更になる場合がございますが、事前に告知させていただきます。